



**OMRON**

*Sensing tomorrow™*

# 2012年度決算 投資家様向け説明会

2013年4月26日  
オムロン株式会社



# 目次

1. 2012年度 業績結果 … P. 3
2. 2013年度 計画 … P.10
3. VG戦略と企業価値向上 … P.19
4. 参考資料 … P.32



# 2012年度 業績結果



# 連結損益計算書

➤ VG2020戦略を着実に実行し、計画どおりの売上、利益を達成。

(億円)

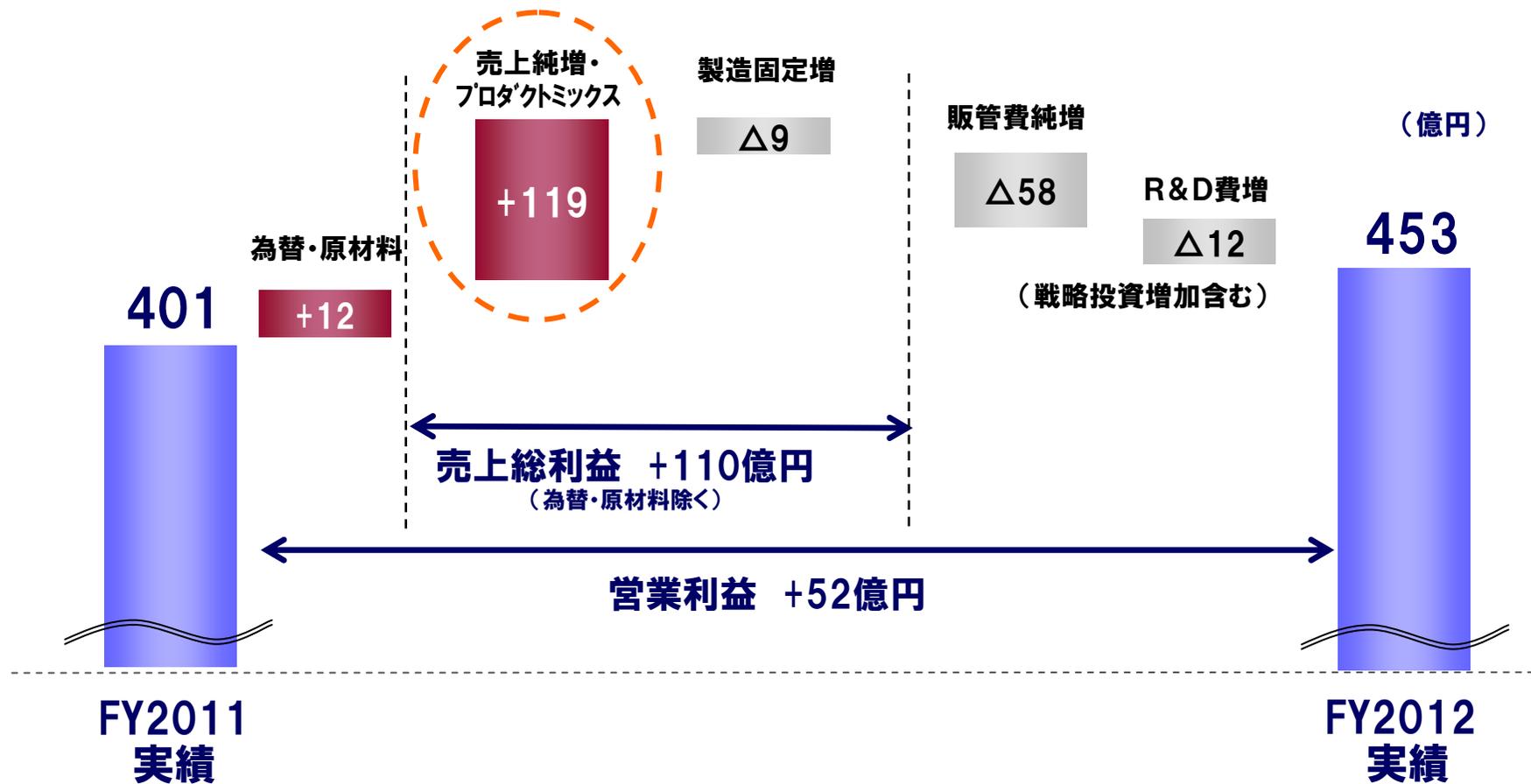
	2012年度 実績	2012年 期初計画	達成率	2011年度 実績	前年度比
売上高	6,505	6,500	+100.1%	6,195	+5.0%
売上総利益 (売上総利益率)	2,415 (37.1%)	2,435 (37.5%)	+99.2% (Δ0.4P)	2,279 (36.8%)	+6.0% (+0.3P)
営業利益 (営業利益率)	453 (7.0%)	460 (7.1%)	+98.6% (Δ0.1P)	401 (6.5%)	+13.0% (+0.5P)
税引前当期純利益	412	430	+95.9%	335	+22.9%
当期純利益	302	285	+106.0%	164	+84.3%
USDレート(円)	83.2	82.6*	+0.6	79.3	+3.9
EURレート(円)	107.6	107.1*	+0.5	110.3	Δ2.7
銅価格(円)	686	680*	+6	738	Δ52
銀価格(円)	83,042	81,910*	+1,132	92,379	Δ 9,337

\*前回見通し値



# 営業利益増減分析 <前年度比>

- 戦略投資を確実に実行しながら、売上増と一般経費のコントロールにより、営業利益は52億円増加。





# 連結貸借対照表

- 在庫水準は前年度末水準を維持し、在庫コントロールは着実に実行。  
(為替影響を除くと在庫は837億円で前期比86億円の削減)

	2013年3月末	2012年3月末	2012年12月末 (参考)
			(億円)
<b>資産の部</b>	<b>5,736</b>	<b>5,373</b>	<b>5,595</b>
現預金	557	453	547
売上債権	1,569	1,411	1,387
在庫	910	923	1,015
繰延税金、その他流動資産	301	295	301
有形固定資産	1,268	1,207	1,247
投資その他資産	1,131	1,085	1,098
<b>負債の部</b>	<b>2,049</b>	<b>2,156</b>	<b>2,099</b>
短期借入金	56	188	197
長期借入金	0	0	0
支払い手形及び買掛金等	756	793	771
退職給付引当金	569	604	570
その他負債	668	571	561
<b>純資産の部</b>	<b>3,688</b>	<b>3,217</b>	<b>3,496</b>
資本金・その他剰余金等	4,277	4,338	4,514
その他包括利益(損失)累計額	△443	△684	△590
自己株式	△164	△445	△445
非支配持分	18	8	17
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>5,736</b>	<b>5,373</b>	<b>5,595</b>



# 連結キャッシュ・フロー計算書

➤ 着実に投資を実行しながらも、営業CFの増加により、フリーCFは増加。

(億円)

	2012年度 実績	2011年度 実績
営業活動によるキャッシュフロー	531	319
投資活動によるキャッシュフロー	△285	△265
フリー・キャッシュフロー (FCF)	246	54
財務活動によるキャッシュフロー	△186	△335
換算レート変動の影響	44	△14
現金及び現金同等物の増減額	105	△295
当期末の現金残高	557	453

設備投資	283	283
減価償却費	225	226



# 事業セグメント別① 売上高

- 5つの事業セグメントで前年度比アップの売上を達成。
- うち4つの事業セグメントで前年度比2桁増。

(億円)

	2012年度 実績	2012年度 前回見通し	見通し比	2011年度 実績	前年度比
制御機器事業 (IAB)	2,630	2,670	△1.5%	2,708	△2.9%
電子部品事業 (EMC)	841	875	△3.9%	830	+1.3%
車載事業 (AEC)	976	950	+2.8%	850	+14.8%
社会システム事業 (SSB)	688	660	+4.2%	572	+20.2%
ヘルスケア事業 (HCB)	715	695	+2.9%	624	+14.5%
その他事業	592	590	+0.4%	535	+10.7%
消去調整他	63	60	+4.4%	76	△16.2%
合計	6,505	6,500	+0.1%	6,195	+5.0%



## 事業セグメント別② 営業利益

- 営業利益は4つの事業セグメントで前年度を上回る。
- 各事業セグメントの収益改善の効果が着実に起きている。

(億円)

	2012年度 実績	2012年度 前回見通し	計画差	2011年度 実績	前年度差
制御機器事業 (IAB)	295 (11.2%)	335 (12.5%)	△ 40 (△1.3P)	333 (12.3%)	△ 39 (△1.1P)
電子部品事業 (EMC)	62 (7.4%)	80 (9.1%)	△ 18 (△1.7P)	72 (8.7%)	△ 10 (△1.3P)
車載事業 (AEC)	50 (5.1%)	50 (5.3%)	+0 (△0.2P)	27 (3.2%)	+23 (+1.9P)
社会システム事業 (SSB)	29 (4.2%)	25 (3.8%)	+4 (+0.4P)	1 (0.2%)	+28 (+4.0P)
ヘルスケア事業 (HCB)	44 (6.2%)	45 (6.5%)	△ 1 (△0.3P)	29 (4.7%)	+15 (+1.5P)
その他事業	25 (4.3%)	△5	+30	△36 ( - )	+61
消去調整他	△52	△70	+18	△25	△ 27
合計	453 (7.0%)	460 (7.1%)	△ 7 (△0.1P)	401 (6.5%)	+52 (+0.5P)

※カッコ内の数字は外部売上高に対する営業利益率



# 2013年度 計画



## <方針>

### Complete the GLOBE Stage!

「成長力」×「収益力」×「変化対応力」を備えた  
強い企業への変革を成し遂げる

## <実行プラン>

VGグローバルステージで掲げた実行プランは継続し、完成させる。

- ①IA事業の最強化
- ②新興国での売上拡大
- ③環境事業への注力
- ④収益構造改革
- ⑤グローバル人財の強化



# 2013年度 外部環境の前提

## 2013年度の外部環境

- グローバル経済は不透明感が続くも、欧州を除き回復の兆し
- 地域別の経済環境
  - 国内：景気の回復は2Q以降
  - 海外：欧州：景気停滞継続
  - 米国：自動車を中心に設備投資需要は堅調
  - 中国：景気不透明感が残るも徐々に回復の兆し
  - 新興国：底堅い経済成長による個人消費・設備投資の需要増

## 前提条件(為替／原材料価格の前提)

為替： USD … 90円  
 EUR … 120円

1円変動による影響額(通期)

通貨	売上への影響額	営業利益への影響額
USD	約31億円	約5億円
EUR	約8億円	約4億円

原材料： 銀 … 88,500円/kg  
 銅 … 770円/kg

価格変動による影響額(通期)

原材料	変動額	営業利益への影響額
銀	1,000円/kg	約1億円
銅	10円/kg	約1億円



# 2013年度 連結損益計算書

- 売上高7,100億円、売上総利益率39%、営業利益580億円、  
当期純利益400億円を目指す。

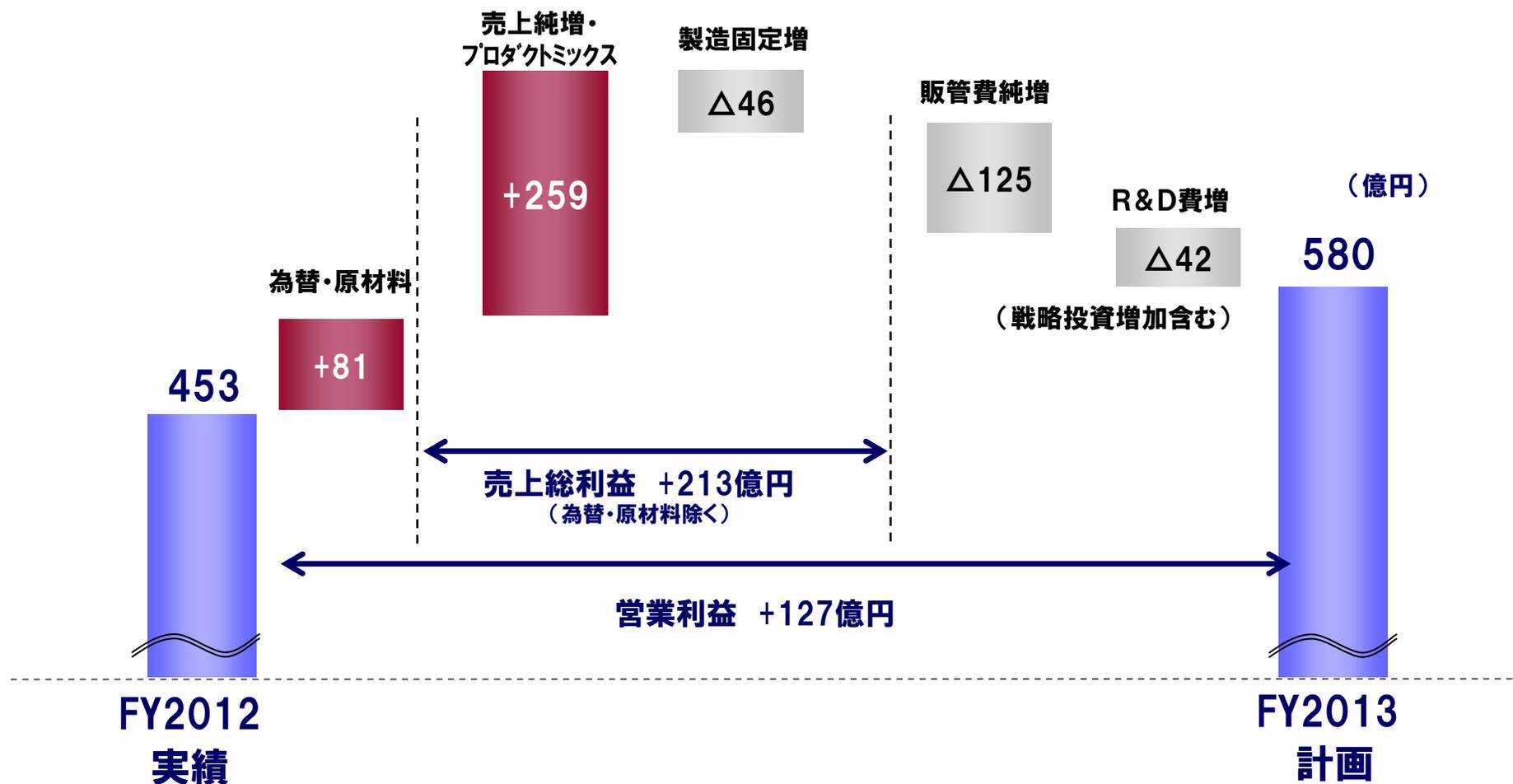
(億円)

	2013年度 計画	2012年度 実績	前年度比
売上高	7,100	6,505	+9.2%
売上総利益 (売上総利益率)	2,770 (39.0%)	2,415 (37.1%)	+14.7% (+1.9P)
販管費	1,710	1,527	+12.0%
R&D費	480	435	+10.4%
営業利益 (営業利益率)	580 (8.2%)	453 (7.0%)	+27.9% (+1.2P)
営業外費用	15	41	△63.5%
税引前当期純利益	565	412	+37.0%
当期純利益	400	302	+32.4%
EPS(円)	181.71	137.20	+32.4%



# 営業利益増減分析 <前年度比>

➤ VG戦略投資を実行しながら、営業利益は127億円増加させる。





# 事業セグメント別① 売上高

➤ 全事業セグメントで増収を目指す。

(億円)

	2013年度 計画	2012年度 実績	前年度比
制御機器事業 (IAB)	2,820	2,630	+7.2%
電子部品事業 (EMC)	940	841	+11.8%
車載事業 (AEC)	1,085	976	+11.1%
社会システム事業 (SSB)	760	688	+10.5%
ヘルスケア事業 (HCB)	825	715	+15.4%
その他事業	620	592	+4.7%
消去調整他	50	63	△19.5%
合計	7,100	6,505	+9.2%



## 事業セグメント別② 営業利益

- 全事業セグメントで増益を目指す。
- 各事業で収益改善を進め、利益率を向上させる。

(億円)

	2013年度 計画	2012年度 実績	前年度差
<b>制御機器事業</b> (IAB)	<b>365</b> (12.9%)	<b>313</b> (11.9%)	<b>+52</b> (+1.0P)
<b>電子部品事業</b> (EMC)	<b>70</b> (7.4%)	<b>44</b> (5.2%)	<b>+26</b> (+2.2P)
<b>車載事業</b> (AEC)	<b>70</b> (6.5%)	<b>50</b> (5.1%)	<b>+20</b> (+1.4P)
<b>社会システム事業</b> (SSB)	<b>45</b> (5.9%)	<b>29</b> (4.2%)	<b>+16</b> (+1.7P)
<b>ヘルスケア事業</b> (HCB)	<b>70</b> (8.5%)	<b>44</b> (6.2%)	<b>+26</b> (+2.3P)
<b>その他事業</b>	<b>35</b> (5.6%)	<b>25</b> (4.3%)	<b>+10</b> (+1.3P)
<b>消去調整他</b>	<b>△75</b>	<b>△52</b>	<b>△ 23</b>
<b>合計</b>	<b>580</b> (8.2%)	<b>453</b> (7.0%)	<b>+127</b> (+1.2P)

※カッコ内の数字は外部売上高に対する営業利益率

※経営管理区分見直しにより、FY13より「EMC」傘下の一部を「IAB」の事業セグメントに含めています。これに伴い、FY12の営業利益を新管理区分に組替えて表示しており、P9のIABおよびEMCの実績とは異なります。



# 事業セグメント別事業環境認識

事業セグメント	事業環境認識
制御機器事業 (IAB)	国内: 自動車関連業界、電子部品は徐々に回復傾向。2Q以降の回復を見込む。工作機械は横ばいが続く。半導体は回復の兆しはあるが、全体では依然として不透明感あり。 海外: 欧州は、経済指標は長期的に改善傾向にあるものの、足元は予断を許さない状況であり、生産高・新規投資の減少継続。中国は、PMIは改善傾向で2Q以降の緩やかな回復を見込む。
電子部品事業 (EMC)	国内: 白物家電向け需要は緩やかに増加 海外: 米国・アジアエリアでの需要は堅調。 欧州・中国の需要は徐々に回復。
車載事業 (AEC)	国内: エコカー補助金の反動減の影響もあり、下期からの回復を見込む。 海外: 北米市場は堅調、中国や東南アジアなどの新興国での需要増加。
社会システム事業 (SSB)	駅務機器の更新需要が引続き堅調。 環境関連事業はエンジニアリング、保守メンテ事業の需要増大。
ヘルスケア事業 (HCB)	国内: ヘルスケア・医療データを活用した新たな事業機会の拡大。 海外: 新興国の所得増加に伴う、BRICsの継続成長および新興市場拡大。
その他事業 (環境・バックライト・MD・電子)	環境関連事業のパワコンは需要増加継続、バックライトは軟調。



# 研究開発費、設備投資、減価償却費の見通し

➤ 減価償却を上回る投資を実行し、成長構造を作り上げる。

(億円)

	2013年度	2012年度	前年度比
研究開発費	480	435	+10.4%
設備投資	342	283	+20.8%
減価償却費	269	225	+19.6%



# VG戦略



# GLOBE STAGE 施策の進捗

- 2011年度から2012年度はVG施策を着実に実行してきた。
- 2013年度はVG施策の成果を確実にかりとり、成長を目指す。

(億円)

	2011年度	2012年度	2013年度 (計画)
<b>IA事業売上高 (IAB+EMC)</b> (成長率) (為替除く成長率)	<b>3,538</b> -	<b>3,471</b> (△2%) (△3%)	<b>3,760</b> (+8%) (+3%)
<b>新興国 売上高</b> (成長率) (為替除く成長率)	<b>1,719</b> -	<b>1,859</b> (+8%) (+4%)	<b>2,300</b> (+24%) (+12%)
<b>環境事業関連 売上高</b> (成長率)	<b>219</b> -	<b>296</b> (+35%)	<b>400</b> (+35%)
<b>売上 総利益率</b> (伸び率)	<b>36.8%</b> -	<b>37.1%</b> (+0.3P)	<b>39%</b> (+1.9P)



# GLOBE STAGE IA事業の強化

➤ 制御機器事業はFY11／下期をボトムに売上が回復しており、  
今後もVG施策の成果を確実にかりとり、売上拡大をはかる。

### <制御機器事業 施策>

- ◆高機能商品の拡充
- ◆グローバルスタンダード商品の拡充
- ◆中国営業力強化
- ◆新興国チャネル拡大

### <電子部品事業 施策>

- ◆環境・エナジー事業の拡大
- ◆上海工場の移転拡大
- ◆深セン工場自動化の加速

制御機器事業 売上高推移(半期別)





# GLOBE STAGE 新興国成長

- VG戦略で掲げた新興国での売上拡大に向けた取り組みを着実に実施。
- 2013年度各エリアで2桁成長を目指す。

## 新興国売上成長率

### ◆ 商品ラインアップ拡充

- ・グローバルスタンダード商品拡充
- ・健康機器商品拡充

### ◆ 販売機能強化

- ・販売チャネル拡大
- ・営業拠点/人員拡大

### ◆ 新興国インフラ強化

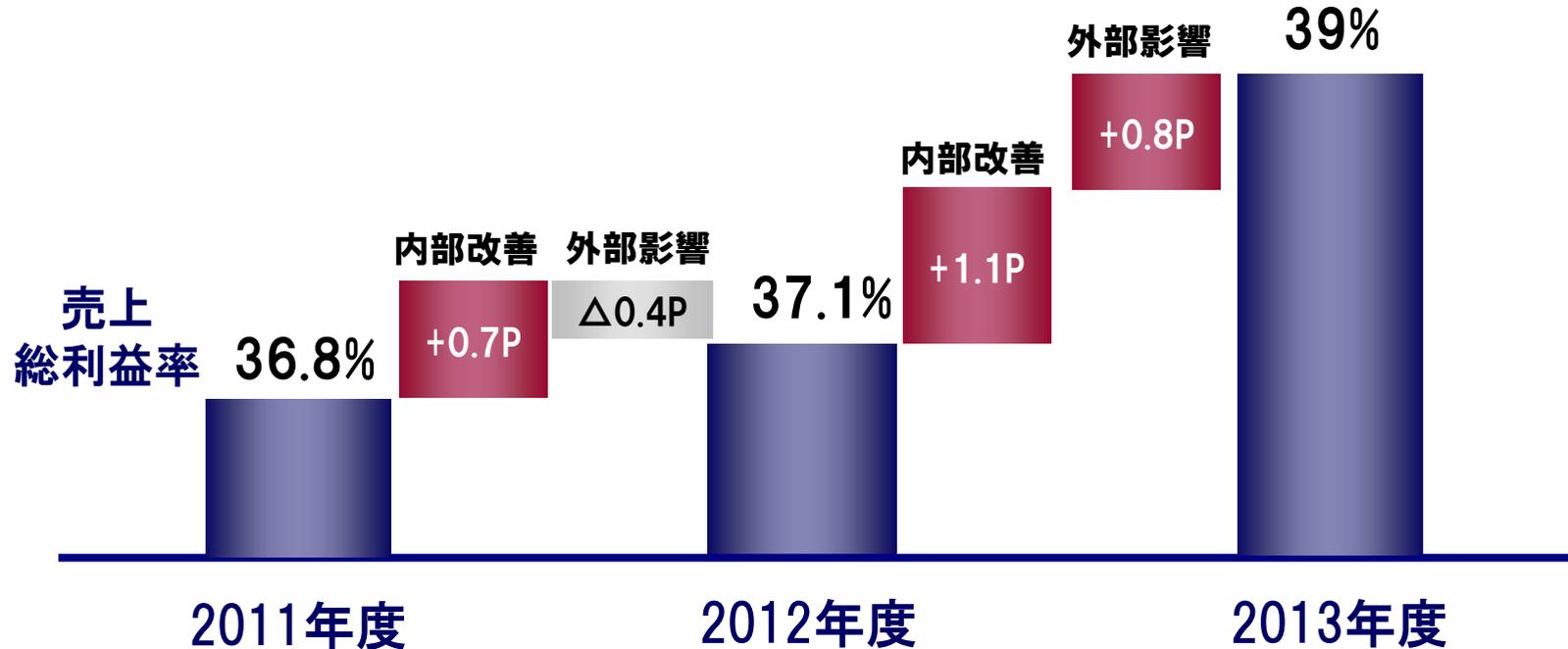
- ・SCM強化
- ・ブランドの浸透

エリア	2012年度 前年度比	2013年度 前年度比
中国 (商流変更除く)	+ 5% (+17%)	+ 23% (+18%)
アジア (韓国除く)	+ 14%	+ 25%
うちインド	+ 42%	+ 29%
ロシア/東欧	+ 31%	+ 23%
中南米	+ 15%	+ 29%



# GLOBE STAGE 収益構造改革

➤ 売上総利益率目標39%を目指す。



◆営業の収益改善努力

◆部品点数削減・プラットフォーム化の進展

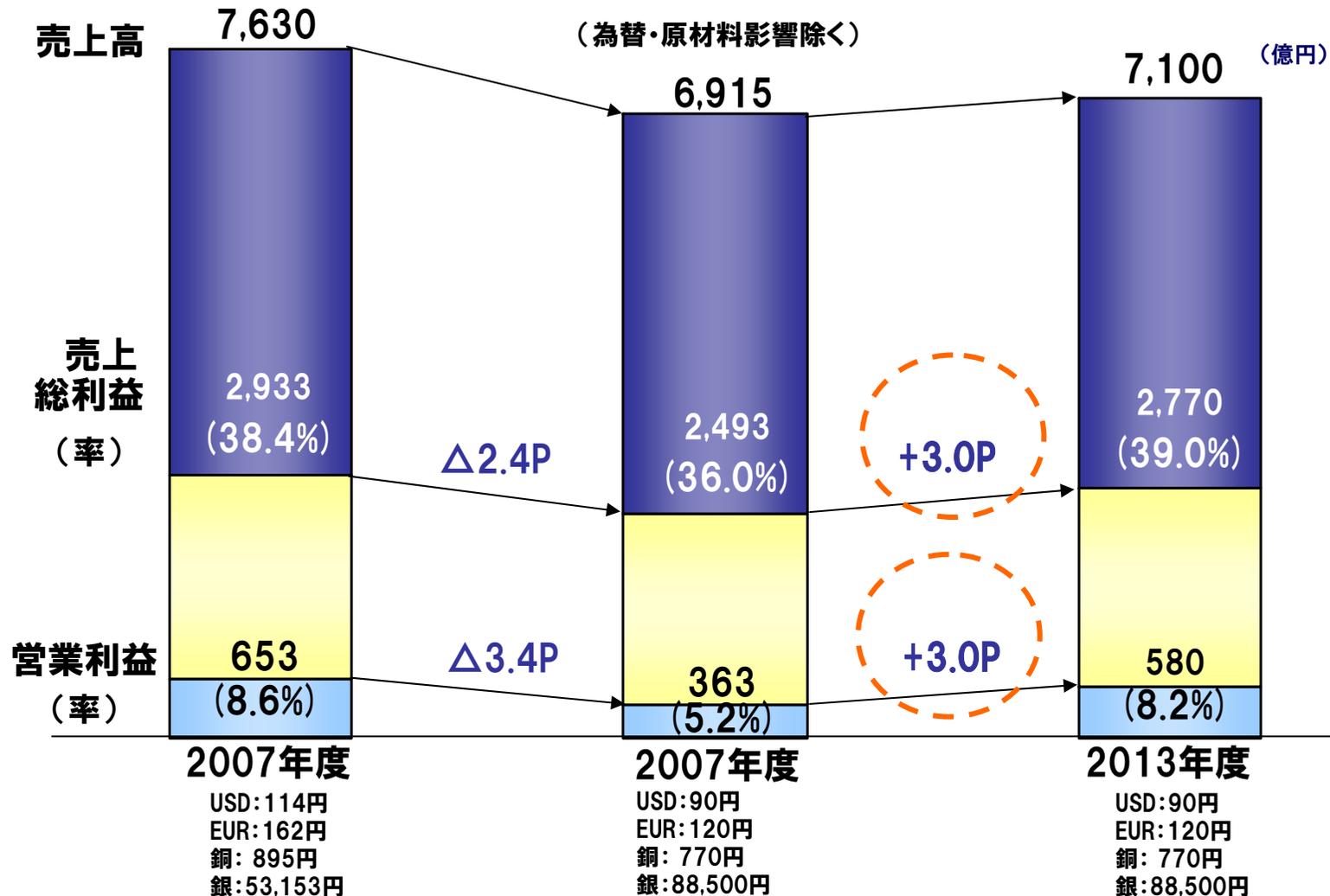
◆銀や銅、樹脂など主要部材の省材料化

◆中国・アジアでの自動化／ローコストオートメーション



# (参考) FY07とFY13のPL構造比較

➤ 2013年度に過去の業績ピーク時以上の強いPL構造を完成させる。





# GLOBE STAGE 為替変動リスクの低減

- 為替バランスを改善する取り組みを実行し、為替に影響されにくい体質を構築した。

## USD為替感応度 (計画ベース)

	FY11	FY12	FY13
営業利益	9億円	7億円	5億円
売上	25億円	28億円	31億円

### <短期的な打ち手>

- ①国内仕入における、グローバルサプライヤーへの支払いを円からドルへ
- ②海外仕入における、支払いを円からドルへ
- ③国内経費取引のドル化

### <中期的な打ち手>

- ①海外生産拡大に伴う現地調達拡大など
- ②海外への生産機能移管による固定費シフト



# 株主還元強化



## 【配当方針】

**2013年度より最低20%の配当性向から25%以上へ変更**

2013年度中間配当予想額は18円とする。

## 【利益配分に関する基本方針】(2013年度より)

- (1) 企業価値向上に向けた**成長投資を第一優先**
- (2) 配当金については、**連結業績を勘案し安定的かつ継続的に還元**
- (3) **25%以上の配当性向の維持とDOE2%を当面の目標とする。**
- (4) 自社株買い等はM&A他、FCFの状況を加味し**機動的に対応する**



# 企業価値向上



# 主要経営指標

➤ ROICなど主要な経営指標を念頭に経営

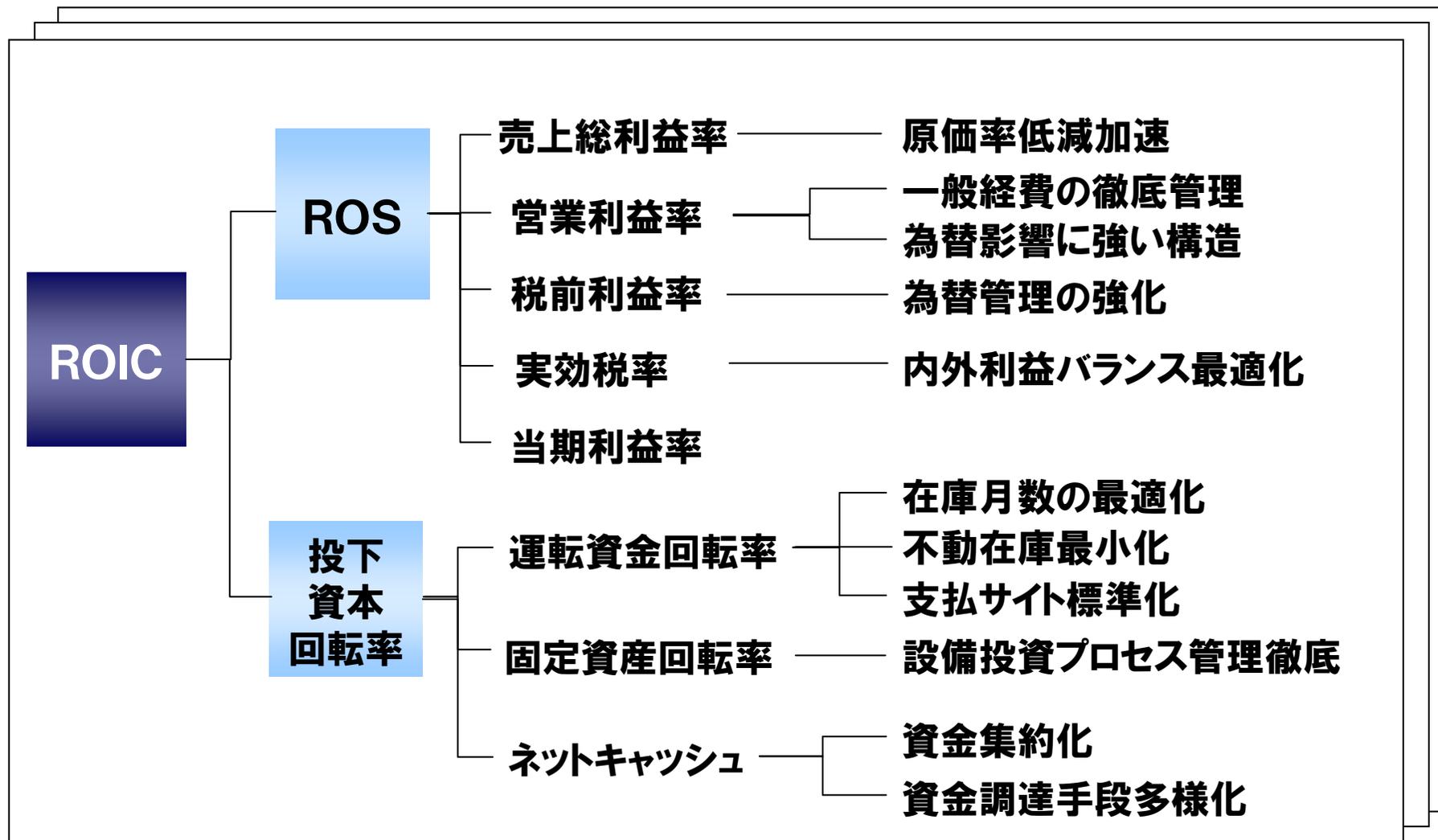
経営指標	2012年度実績	2013年度(計画)
売上総利益率	37.1%	39%
営業利益率	7.0%	8.2%
ROE	8.8%	10%超
ROIC	8.6%	10%超

ROIC=当期純利益／投下資本



# 企業価値向上のために

➤ 指標別に分解し、全事業でROICを高める施策を実施





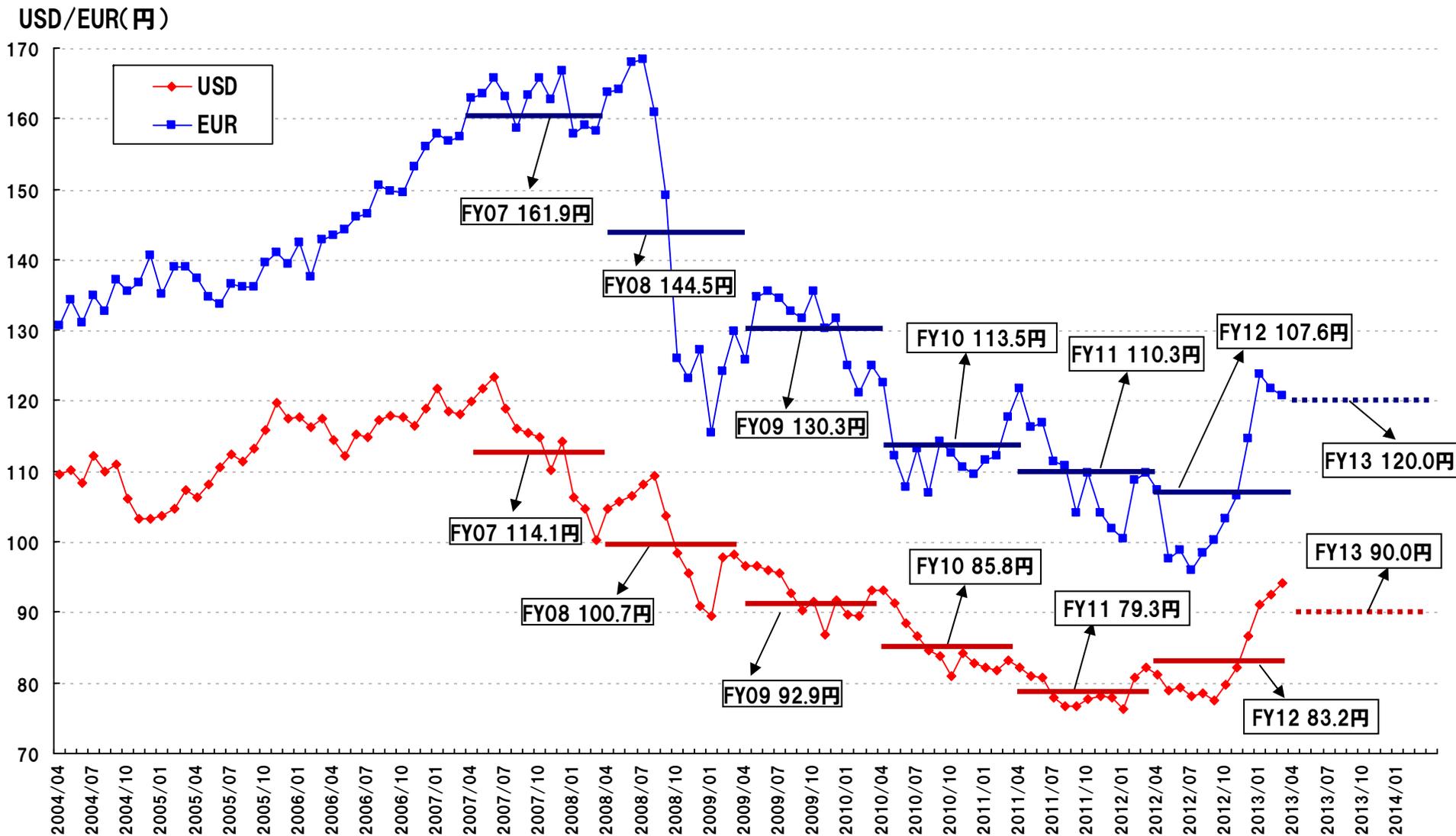
## 創業80周年記念ロゴ



# 参考資料

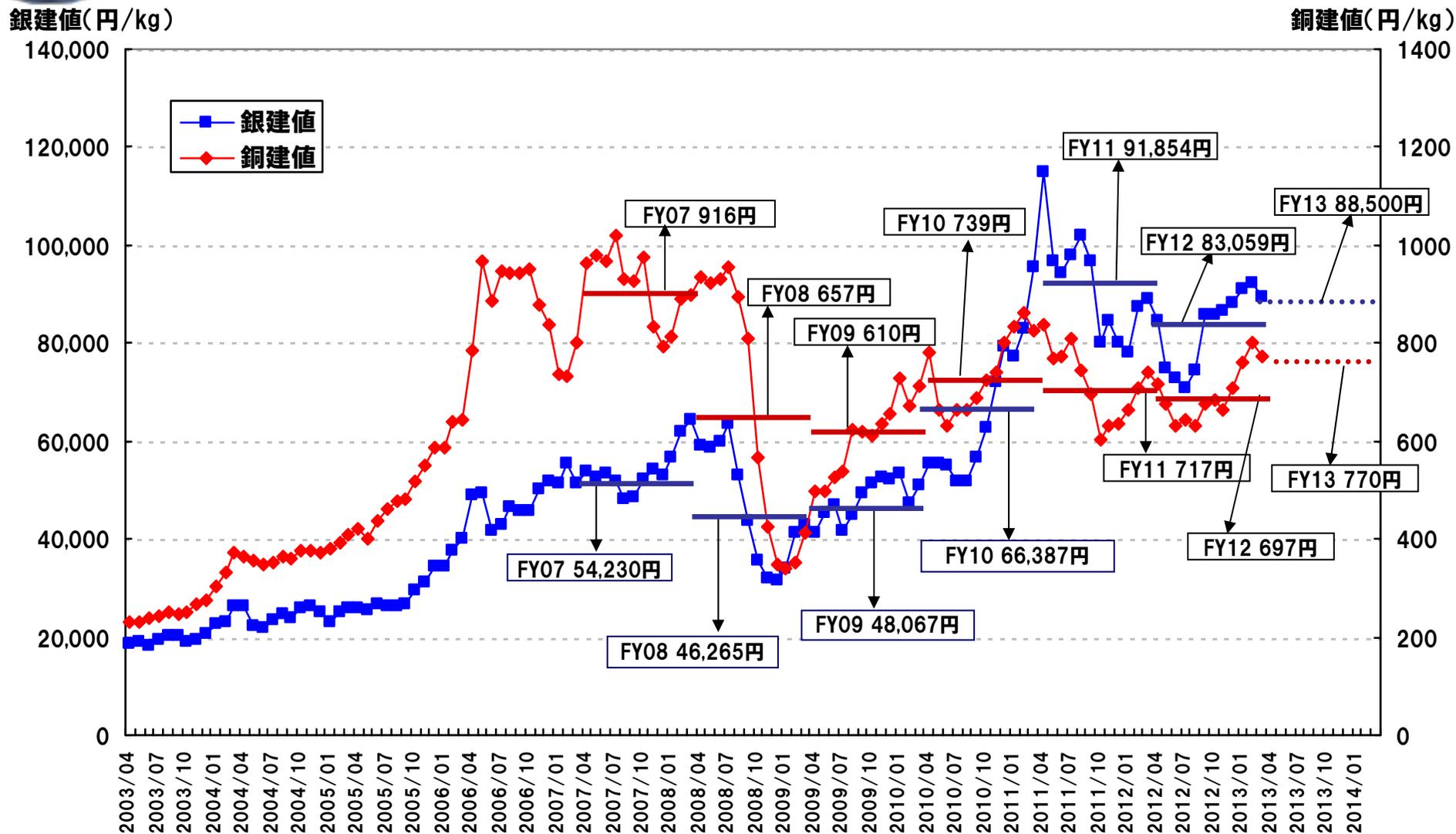


# 為替レートの推移(ドル、ユーロ)





# 原材料価格の推移(銀、銅)



※グラフ中の数値は、期中の建値の単純平均値



# オムロンの事業内容

## (その他事業)

液晶バックライト、半導体・MEMS、  
省エネ・環境ビジネス、電子機器など

## (エレクトロニック & メカニカルコンポーネンツ)

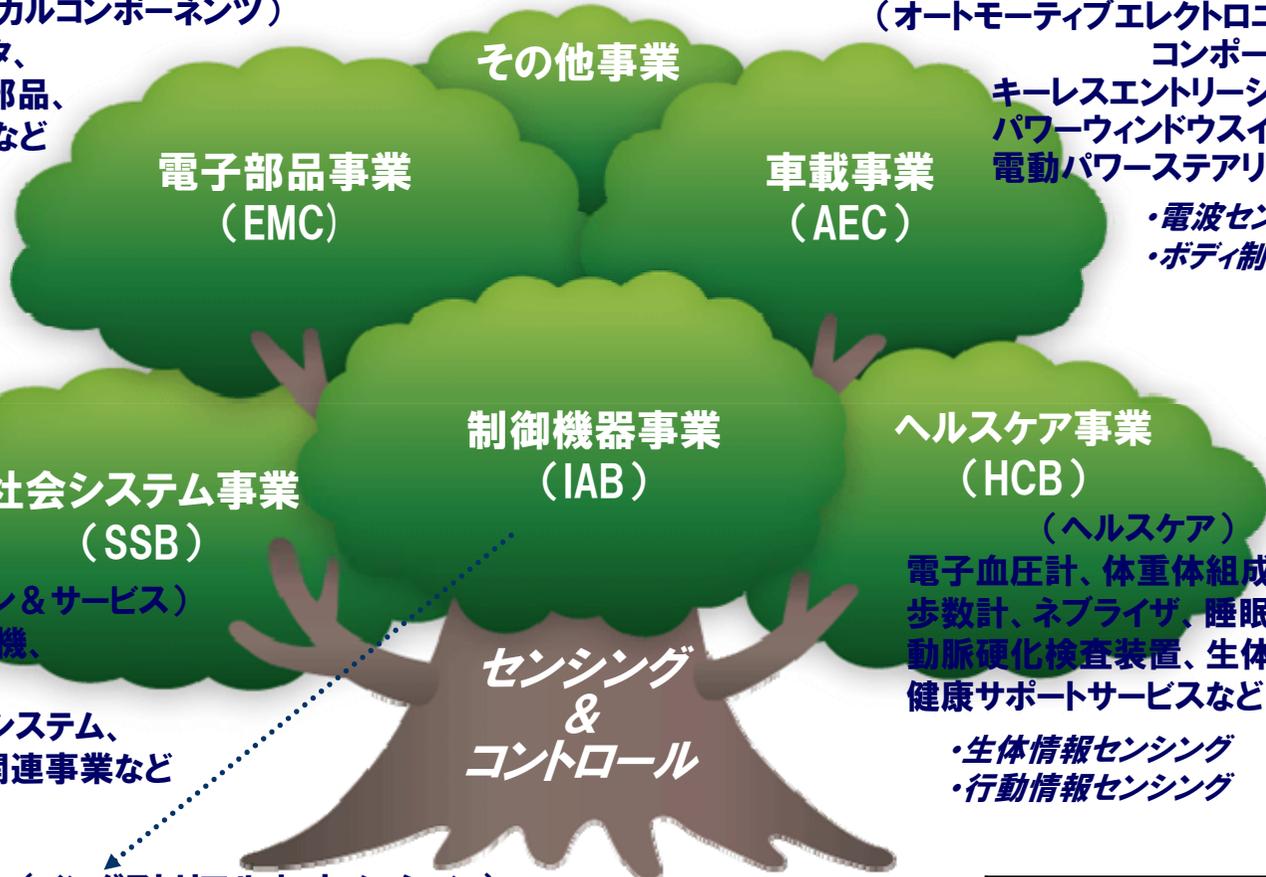
リレー、スイッチ、コネクタ、  
アミューズメント機器用部品、  
モバイル機器搭載部品など

- ・電気信号センシング
- ・電流・電圧制御

## (オートモーティブエレクトロニック コンポーネンツ)

キーレスエントリーシステム、  
パワーウィンドウスイッチ、  
電動パワーステアリングシステムなど

- ・電波センシング
- ・ボディ制御



## 社会システム事業 (SSB)

### (ソーシャル

システムズ・ソリューション & サービス)  
自動改札機、自動券売機、  
道路情報提供システム、  
セキュリティマネジメントシステム、  
顔認識システム、環境関連事業など

- ・カード・切符搬送技術
- ・遠赤外センシング
- ・顔画像センシング

## 制御機器事業 (IAB)

### (インダストリアルオートメーション)

近接／光電／視覚センサ、PLC、温度調節器、  
セーフティ機器、各種検査装置など

- ・変位・測長センシング
- ・温度コントロール
- ・マシンコントロール
- ・画像センシング

## ヘルスケア事業 (HCB)

### (ヘルスケア)

電子血圧計、体重体組成計、電子体温計、  
歩数計、ネブライザ、睡眠計、  
動脈硬化検査装置、生体情報モニタ、  
健康サポートサービスなど

- ・生体情報センシング
- ・行動情報センシング

連結子会社数等	153
持分法適用関連会社数	12

※2013年3月末時点



**<注意事項>**

1. 当社の連結決算は米国会計基準を採用しています。
2. 業績見通し等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なることがあります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、( i ) 当社の事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、( ii ) 当社製品・サービスに対する需要動向、( iii ) 新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、( iv ) 資金調達環境の大幅な変動、( v ) 他社との提携・協力関係、( vi ) 為替・株式市場の動向、( vii ) 事故・震災などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

**<お問い合わせ>**

**オムロン株式会社**

**経営IR室 経営IR部**

**電話** : 03-6718-3421

**E-mail** : [omron\\_ir@omron.co.jp](mailto:omron_ir@omron.co.jp)

**HPアドレス** : [www.omron.co.jp](http://www.omron.co.jp)